科目名 Subject	異文化理解 Cross-cultural Understanding		教員名	河﨑/遠藤	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	1
必修／選択	必修	授業形態	講義	時間	30
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	◎	△	○	◎
科目の概要	グローバル時代と言われる今日、国際人として求められる要件は言語や世界共通のルール・マナー、他国の生活様式や価値観を理解し受容できることです。この授業では、異文化を比較し理解を深め、違う価値観を学び受容することで、国際人としての考え方を構築し、能動的な行動に移せる人材を輩出するよう、コミュニケーションスキルを意識しながら授業を展開していきます。また美歳学では日本文化を意識し、日本人の幼少期からの歳を重ねる美徳も考えていきます。				
授業の目標	世界の国々の文化の違い（衣食住・宗教等）に理解を深め、それぞれの価値観の違いに着目することで、異文化間のコミュニケーションの重要さに気づくことができます。 また、日本・海外問わず国際人として言語、非言語を使い、互いに理解を深める行動ができるよう国際人としての一般常識とコミュニケーション論を習得し、実践できるようになります。				
時間外学習（予習・復習）	異文化間コミュニケーションの単元では、「おもてなしマイスター」の資格取得を意識した予習復習をして下さい。知識習得確認のための小テストを授業内で数回実施しますので小テスト準備も行って下さい。毎授業のポイントの予習復習やグループワークを活性化する為、役割分担している部分の予習復習をしてください。各回の予習復習は概ね60分から90分を見込みます。				
教科書・教材	教科書	「おもてなしマイスター」の教科書（キャプラン株式会社・グローバルおもてなしマイスター認定）			
	教材	プリントを適宜配布します。			
	使用設備・備品	プロジェクター、スクリーン、ＤＶＤ再生等ＡＶ機器			
	参考文献	必要に応じて提示します。			
評価方法	授業参加意欲30%、レポート提出、グループ発表（併せて70%）の結果等を総合的に評価します。				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	レポートに対して、コメントを返します。				
	授業内で理解度を確認し、知識の再習得を行います。				
履修上の注意	私語、居眠り、飲食、携帯電話の使用、授業の妨げ、マナーに反する行為は退出を命ずることがあります。質問や意見をどんどん出して授業に積極的に参加すること。				
本科目履修と関連する資格	資格名	「おもてなしマイスター」（ベーシックマイスター）・「おもてなしスキルスタンダード」			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	オリエンテーション 異文化理解とは何かを考える。	授業の全体像を理解し、15回の授業の展開を予測し、「おもてなしマイスター」の資格の内容もわかる。	「異文化」という言葉の意味を調べ、テキストを読み、今後の授業の予習をする。
第２回	「おもてなしマイスター」の異文化間コミュニケーションの分野の「二つの理解」の基礎を学ぶ。	「二つの理解」がどのようなものかテキストを中心に理解し、説明できるようになる。	おもてなしマイスター（異文化間コミュニケーション）の「二つの理解」をノートに纏める。
第３回	「二つの理解」を応用的に学ぶ。	「二つの理解」の事例を交えてグループ討議をし、自分の意見を述べる事ができる。。	「二つの理解」を説明できるまで内容を記憶して、ノートを完成させる。
第４回	異文化間コミュニケーションの分野の「DIE理論」を応用的に学ぶ。	「DIE理論」がどのようなものかテキストを中心に理解し、説明できるようになる。	おもてなしマイスター（異文化間コミュニケーション）の「DIE理論」をノートに纏める。
第５回	異文化間コミュニケーションの分野の「DIE理論」の基礎を学ぶ。	「DIE理論」の事例を交えてグループ討議をし、自分の意見を述べる事ができる。	「DIE理論」を説明できるまで内容を記憶して、ノートを完成させる。
第６回	異文化間コミュニケーションの分野の「コンテクスト理論」の基礎を学ぶ。	「コンテクスト理論」がどのようなものかテキストを中心に理解し、説明できるようになる。	おもてなしマイスター（異文化間コミュニケーション）の「コンテキスト理論」をノートに纏める。
第７回	異文化間コミュニケーションの分野の「コンテクスト理論」を応用的に学ぶ。	「コンテクスト理論」の事例を交えてグループ討議をし、自分の意見を述べる事ができる。	「コンテキスト理論」を説明できるまで内容を記憶して、ノートを完成させる。
第８回	ロンドンを知る	ロンドンに関したDVDを鑑賞し、海外研修の準備として知識面を向上させる。	旅程と照らし合わせ、復習しながら、研修旅行の予習をする。
第９回	パリを知る。	パリに関したDVDを鑑賞し、海外研修の準備として知識面を向上させる。	旅程と照らし合わせ、復習しながら、研修旅行の予習をする。
第１０回	異文化間コミュニケーションの分野の「自文化中心主義と文化統合主義」の基礎を学ぶ。	「自文化中心主義と文化統合主義」がどのようなものかテキストを中心に理解し、説明できるようになる。	おもてなしマイスター（異文化間コミュニケーション）の「自文化中心主義と文化統合主義」をノートに纏める。
第１１回	異文化間コミュニケーションの分野の「自文化中心主義と文化統合主義」を応用的に学ぶ。	自文化中心主義と文化統合主義がどのようなものか、自分の考えを述べる事ができる。	「自文化中心主義と文化統合主義」を説明できるまで内容を記憶して、ノートを完成させる。
第１２回	異文化間コミュニケーションの分野のアクティブ・リスニングの基礎を学ぶ。	「アクティブ・リスニング」とは何かを理解し、説明できるようになる。	おもてなしマイスター（異文化間コミュニケーション）の「アクティブ・リスニング」をノートに纏める。
第１３回	異文化間コミュニケーションの分野のアクティブ・リスニングを応用的に学ぶ。	「アクティブ・リスニング」とはどのようなことか、自分の考えを述べることができる。	「アクティブ・リスニング」を説明できるまで内容を記憶して、ノートを完成させる。
第１４回	授業で学んだ異文化間コミュニケーションの理論を体系的に纏めてみる。	授業で習った異文化間コミュニケーションの理論を、それぞれ説明できるようになる。	異文化間コミュニケーションの理論を、明確に説明できるようにする。
第１５回	まとめ（15回の振り返り）	授業を振り返り、異文化を再度理解し、異文化間コミュニケーションがとれる。	全体の復習を行う（60分以上）